



本資料は、米国アッヴィ社が2024年10月30日(米国時間)に発表したプレスリリースを一部、日本語に翻訳し、2024年11月5日(日本時間)、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料(英文)については、www.abbvie.comをご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

PRESS RELEASE

2024年11月5日

アッヴィ、2024年度第3四半期の業績を発表

- 第3四半期の希薄化後1株当たり利益(EPS)はGAAPベースで、12.0%減の0.88ドル、調整後希薄化後EPSは1.7%増の3.00ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した1株当たり0.04ドルのマイナスの影響が含まれます。
- 第3四半期の売上高は、報告ベースで3.8%増、営業ベースで4.9%増の144億6,000万ドルでした。
- イムノロジー(免疫)領域の第3四半期の売上高は、報告ベースで3.9%増、営業ベースで4.8%増の70億4,600万ドルでした。ヒュミラ®の売上高は、22億2,700万ドルでした。スキリージ®の売上高は、32億500万ドルでした。リンヴォック®の売上高は、16億1,400万ドルでした。
- オンコロジー(がん)領域の第3四半期の売上高は、報告ベースで11.6%増、営業ベースで13.0%増の16億8,700万ドルでした。イムブルビカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は、8億2,800万ドルでした。ベネクレクスタ®の売上高は、6億7,700万ドルでした。
- ニューロサイエンス(精神・神経疾患)領域の第3四半期の売上高は、報告ベースで15.6%増、営業ベースで16.0%増の23億6,300万ドルでした。ポトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、8億4,800万ドルでした。Vraylar(日本では未承認・未発売)の売上高は、8億7,500万ドルでした。UbrelyvyおよびQulipta(日本では未承認・未発売)の売上高は合わせて、4億4,500万ドルでした。
- エステティクス領域の第3四半期の売上高は、報告ベースで0.1%減、営業ベースで1.8%増の12億3,900万ドルでした。ポトックス・コスメティックの売上高は、6億7,100万ドルでした。ジュビダームの売上高は、2億5,800万ドルでした。
- Cerevelの買収が完了し、当社のニューロサイエンス領域のパイプラインは拡充しました。
- 2024年度における調整後希薄化後EPSのガイダンスは、10.67ドル-10.87ドルから10.90ドル-10.94ドルに引き上げます。これには、2024年第3四半期までに発生した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払による1株当たり0.64ドルのマイナスの影響が含まれます。
- 2025年2月の配当より、5.8%の増配を実施することを発表します。

米国イリノイ州ノースシカゴ、2024年10月30日—アッヴィ(NYSE:ABBV)は、2024年第3四半期(2024年9月30日終了)の業績を発表しました。

アッヴィのCEOであるロバート・A・マイケルは、次のように述べています。
「今四半期もビジネスの展開および開発パイプラインの進捗は好調でした。この好調を維持すると



ともに長期的な成長の見通しを踏まえ、通年のガイダンスを再び引き上げ、四半期配当の増配を行います」

2024 年第 3 四半期の業績

- 売上高は、報告ベースで 3.8%増、営業ベースで 4.9%増の 144 億 6,000 万ドルでした。
- イミュノロジー(免疫)領域の売上高は、報告ベースで 3.9%増、営業ベースで 4.8%増の 70 億 4,600 万ドルでした。
 - ヒュミラ®の売上高は、報告ベースで 37.2%減、営業ベースで 36.5%減の 22 億 2,700 万ドルでした。米国での売上高は、41.6%減の 17 億 6,500 万ドルで、米国外では報告ベースで 12.4%減、営業ベースで 7.8%減の 4 億 6,200 万ドルでした。
 - スキリージ®の売上高は、報告ベースで 50.8%増、営業ベースで 51.5%増の 32 億 500 万ドルでした。
 - リンヴォック®の売上高は、報告ベースで 45.3%増、営業ベースで 47.4%増の 16 億 1,400 万ドルでした。
- オンコロジー(がん)領域の売上高は、報告ベースで 11.6%増、営業ベースで 13.0%増の 16 億 8,700 万ドルでした。
 - イムブルピカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は 8.8%減の 8 億 2,800 万ドルで、その内訳は、米国内が 6 億 1,800 万ドル、米国外が 2 億 1,000 万ドルでした。
 - ベネクレクスタ®の売上高は、報告ベースで 14.8%増、営業ベースで 18.2%増の 6 億 7,700 万ドルでした。
 - Elahere(日本で未承認・未発売)の売上高は 1 億 3,900 万ドルでした。
- ニューロサイエンス(精神・神経疾患)領域の売上高は、報告ベースで 15.6%増、営業ベースで 16.0%増の 23 億 6,300 万ドルでした。
 - ボトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、報告ベースで 13.4%増、営業ベースで 14.4%増の 8 億 4,800 万ドルでした。
 - Vraylar(日本で未承認・未発売)の売上高は、16.6%増の 8 億 7,500 万ドルでした。
 - Ubrelvy(日本で未承認・未発売)の売上高は、15.3%増の 2 億 6,900 万ドルでした。
 - Qulipta(日本で未承認・未発売)の売上高は、33.6%増の 1 億 7,600 万ドルでした。
- エステティックス領域の売上高は、報告ベースで 0.1%減、営業ベースで 1.8%増の 12 億 3,900 万ドルでした。
 - ボトックス・コスメティックの売上高は、報告ベースで 8.2%増、営業ベースで 9.9%増の 6 億 7,100 万ドルでした。
 - ジュビダームの売上高は、報告ベースで 19.7%減、営業ベースで 16.9%減の 2 億 5,800 万ドルでした。
- GAAP ベースで、売上総利益率は 70.9%でした。調整後売上総利益率は 84.4%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、29.1%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は 23.0%でした。



- GAAP ベースで、売上高に占める研究開発費の割合は、14.7%でした。調整後の研究開発費の売上高に占める割合は、14.2%でした。
- 取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払の売上高に占める割合は 0.6% でした。
- GAAP ベースで、営業利益率は 26.5% でした。調整後営業利益率は 46.7% でした。
- 純支払利息は 5 億 9,100 万ドルでした。
- GAAP ベースで、税率は 25.0% でした。調整後の税率は、16.2% でした。
- 希薄化後 EPS は、GAAP ベースで 0.88 ドルでした。特定項目を除く調整後希薄化後 EPS は、3.00 ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した 1 株当たり 0.04 ドルのマイナスの影響が含まれます。

注意：「営業ベース(Operational)」の対比は、恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。

詳細な情報はこちらをご覧ください(英文オリジナル)。

https://news.abbvie.com/2024-10-30-AbbVie-Reports-Third-Quarter-2024-Financial-Results?_gl=1*14pbn15*_ga*NDU2NjkyNTIyLjE3MjEzMDU0NjY.*_ga_5LEXD56YGK*MTczMDMyODU4OC42MS4wLjE3MzAzMjg1ODquMC4wLjA.*_fplc*bVFzOWtabnZ0WGpEbUlseERJMnJ2NWxqVTB2enhENk1QMjk0WHdnTW5TOXp4aEZ0Qmc4RGiraE1MQnZYMUxxMmoyV3hZQjFZa2dPV2czbkLlTE9ZSGxjZ3JMT2lqdkhjUVQybmlCQmZBJTJcJTJGY3dPOEFCJTJCbVvaQjZnWjkweUx3JTNEJTNE

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、精神・神経疾患、アイケア、さらに美容医療関連のアラガン・エステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。X(旧 Twitter)、Facebook、Instagram や YouTube や LinkedIn でも情報を公開しています。

Forward-Looking Statements

Some statements in this news release are, or may be considered, forward-looking statements for purposes of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. The words "believe," "expect," "anticipate," "project" and similar expressions and uses of future or conditional verbs, generally identify forward-looking statements. AbbVie cautions that these forward-looking statements are subject to risks and uncertainties that may cause actual results to differ materially from those expressed or implied in the forward-looking statements. Such risks and uncertainties include, but are not limited to, challenges to intellectual property, competition from other products, difficulties inherent in the research and development process, adverse litigation or government action, and changes to laws and regulations applicable to our industry. Additional information about the economic, competitive, governmental, technological and other factors that may affect AbbVie's operations is set forth in Item 1A, "Risk Factors," of AbbVie's 2023 Annual Report on Form 10-K, which has been filed with the Securities and Exchange Commission, as updated by its Quarterly Reports on Form 10-Q and in other documents that AbbVie subsequently files with the Securities and Exchange Commission that update, supplement or supersede such information. AbbVie

abbvie

undertakes no obligation, and specifically declines, to release publicly any revisions to forward-looking statements as a result of subsequent events or developments, except as required by law.